

第 2 号(2008.08.01 配信)

暑中お見舞い申し上げます。このところ、真夏日・猛暑日、熱帯夜の連続です。中高年の方はもちろん若い方々も、熱中症になりかけたり体調を崩さないように。水分やスポーツドリンクをこまめに飲み、動き続けたら日陰・木陰で休息するなど細心の注意をして、この夏場を楽しく無事に乗り切ってください。この暑さの中、間もなく北京オリンピックが開幕します。中国人が大好きな「8」の連番！08年8月8日8時8分に開会とか！ずっと前に決まったことで今さら言っても仕方ないけれど、なんでこの暑さの中でオリンピックなの？毎回そうでしたっけ？夏季オリンピックだから、8月開催は何の不思議でもないのかな。8日から17日間、28競技・302種目のまさに熱闘が続きます。発信2回目の今回は、いわばオリンピック特集です。

302種目とは、302個の金メダル、銀メダルがあるってこと。開催地の利で中国のメダルラッシュが続くのか。中国は、初参加のロス大会で金15を取って驚かせ、前回アテネでの金32は、ロシアを抜いて常勝アメリカに次ぐ2位躍進でした。私の関心事は、五輪が奏でる国際関係、国際交流の音色にもありますが、それは後回し。日本の選手の活躍を大いに期待しつつ、以下、敬称を省略してピックアップしますと・・・。

まず開幕後に、柔道・谷(旧姓田村)の3連覇が実現すれば日本勢の意気が上がるのでは！二番手は水泳・北島。例のスポーツ社の水着で200mに世界新を出したばかり。100mはライバルのハンセンも出てきます。どんな争いになるか。女子のレスリングは強いそうですね。前回同様の布陣で同数の3人が覇者になるか。女子マラソン・野口は、史上初の連覇を公言しています。世界記録保持者で前回途中棄権したラドクリフはどうか。今回は最後の野球は星野ジャパンの活躍が見もの、等々。ほんの一部だけでもこの通り。話題は多々あります。外国選手の動向も興味津津です。陸上の花形・100mの勝負はジャマイカかアメリカか。競泳・フェルプスは未踏の8冠獲得ができるか？バスケはアメリカのプロチームが出るそうですが・・・。競技の話題は切りがないので以上にとどめ、国際協力に関連する話に移りましょう。

オリンピック自体は、いわば国際交流の領域ですが、国際関係、国際情勢に少なからぬ影響を及ぼします。かつては、国際政治に絡んでボイコット騒ぎが起き、日本も辛い経験をしました。近年はそれに類する異変はなく、いわば健全な形で進行しています。今回はどうでしょう。中国が、北京オリンピックを、国を挙げての一大プロジェクトとして、大国への発展の足掛かりにしようと意図してきたのは明白です。それだけに、オリンピック開催により、さらにその後、中国はどう変わっていくか。大きな関心事にほかなりません。もっと掘り下げていけば、中国の地位向上につながるか、人権問題の前進になるか、政治、経済にどのような影響、効果を及ぼすか。あるいは、現政権の強化になるか、それとも、国内にうっ積したように見られるマグマがどう動くか。国内動向、国際動向を合わせて、しっかり観察していきたいと思います。なによりも、スポーツの祭典と国際交流が、テロや騒乱なしに平穏無事に進行するよう願っています。中国政権が、オリンピックという国際大イベントの安全と成功に、必要で十分な管理・運営の任を果たすことができれば、それに応じた展望が開けていくでしょう。2年後には上海万博が控えています。国威発揚の第2ステップです。

(8月1日記。国際サブロー)